

日本鉄鋼協会記事

第4回理事会 日時：7月16日(火) 会場：協会々議室。出席者：角野会長，志村副会長，伊藤，佐藤，西郷，俵，橋口各理事，河上監事，三島，山岡各前会長。伊木，入，作井，武田，辻畑，松本，横山，吉田各常務委員。足立 関西支部長代理。橋本事務局長。

報告事項 I. 編集委員会の件。II. 企画委員会の件。III. 「鉄鋼の使い方」講習会の件。IV. 鉄鋼標準試料の件 V. 会員名簿の件。

協議事項 I. 原子力研究委員会の件—規程可決，関係方面より委員の推薦を求め発足のこと。II. 「鉄鋼技術講座」編集委員会の件—委員長伊藤正夫君ほか委員9名委嘱のこと。III. 鉄鋼の塑性加工に関するシンポジウム共催の件—日本金属学会と協議の上決定のこと。IV. 自動制御研究連絡委員会の件—参加承認。代表連絡委員に松下幸雄君委嘱のこと。V. 毎日学術奨励金ならびに偕成会学術奨励金受領候補者推薦の件—関係方面よりの推薦を受け，適當の者あらば推薦のこと。VI. 中国四国支部補助金交付の件—金一万七千円交付のこと。VII. 八幡製鉄渡辺記念資金取扱規則制定の件—原案の通り可決。VIII. 職員給与規程制定の件—原案の通り決定。なお事務局規程，職員就業規則は次回審議のこと。IX. 6月中入退会その他会員異動の件—承認。X. 6月中収支決算の件—承認。

第5回編集委員会 日時：32—7—23(火) 会場：協会々議室。出席者：佐藤理事外11名。

報告事項 I. 32年7月号は7月10日完成発送済み。同8月号は8月5日完成予定。II. 寄贈図書：—“近代鉄業と先覚”(大河原三郎著)，“船協海運年報”(日本船主協会)，“東京製鋼株式会社七十年史”，“三菱信託銀行三十年小史”，“五十年史”(鉄道技術研究所)，“住友金属工業六十年小史”

協議事項 I. 32年10月号原稿選定の件—別紙(省略)の通り選定，II. 技術資料ならびに講義に関する件—別記(省略)の通り執筆依頼のこと，III. 支部講演会講演論文取扱内規の件—本部において案を作成し各支部の意見を徴した上で決定のこと。IV. Tetsu-to-Hagané Abstracts No.5 刊行の件—11月中旬に刊行のこと，原稿は各委員分担査閲のこと，口絵は下記諸会社の設備を掲載のこと：—八幡・光工場の線材圧延設備，富士・広畑の冷間ストリップ圧延設備，鋼管・鶴見の厚板圧延設備，住友金属・製鋼所の連続鑄造設備。V. 雑誌交換の件—(チェッコスロヴァキヤ [Hutnické listy] 誌より交換申入れ) 受諾，VI. 抄録原稿料：8月号より掲載の分に対し1件 300円，否掲載のものは従来通り1件 100円の謝礼とすること。

工業標準原案作成の受託

工業技術院長より7月6日付をもつて，本会に対し「鋼の滲炭硬化層の深さ測定方法」の工業標準原案作成の委託があつた。よつて近く委員会を設け，調査研究の上原案を作成することとなつた。

「鉄鋼技術講座」編集委員会設置

使用者のための鉄鋼技術講座を編集することに決定，新たにその編集委員会を設置することとなり，次の諸氏を委員に委嘱した。

委員長 伊藤正夫，委員(主査) 森永孝三，委員 添田茂樹，辻畑敬治，寺田孝，浜本甲子生，堀川一男，皆木忠夫，安田洋一，八部祐一。

登録 オイレス 商標

含油軸受メタル

寿命が延びて修理と注油の時間
が減りそれだけ生産が増進する

高温高荷重耐摩耗

※ 300 (含油鑄鉄材)

耐摩耗緩衝性強靱

※ 250 (含油合成樹脂材)

無給油メタル

※ 100 (含油木質)

一層強力を要する場合は含油ミーハナイト材

日本オイレスベアリング研究所代理店 **三和機械株式会社**

東京都千代田区神田佐久間町3—24

電話 下谷 (83) 7 4 2 6 番

連絡事務所 室蘭，釜石，名古屋，大阪，広畑